

第65回 福山市美術展 表彰式・講評

■ 7月1日(日)15時よりふくやま美術館に於いて第65回福山市美術展覧会表彰式が行われた。



審査員の先生方



受賞者のみなさん



優秀賞の西中千代子さん



書奨賞の太田紅嶺さん

※書奨賞・・・ふくやま書道美術館奨励賞



奨励賞代表の浅海裕華さん



努力賞代表の峰松建太さん

■ 児玉恒風先生の作品講評及び大楽悠雪先生の審査評

7月1日(日)16時20分より同美術館に於いて児玉恒風先生による作品講評が、大勢の参加者の前で行われ作品制作のポイントや鑑賞の大切さ等について説明があった。その後、優秀賞・奨励賞の方々のコメントがありその作品について一点一点丁寧に講評が行われた。



書の前衛部門は、今年も多数の応募作品があり、その内容も線質・造形ともにレベルの高い力作ぞろいでした。

審査にあたって感じたこととして、まず入選作と選外作の差は非常に小さかったということです。

次に、入賞作に目を向けるとそれぞれに鍛えられた、力強く骨格のしっかりした線・鋭く厳しい線・流れや動きのある線を駆使して、見ごたえのある、心に飛び込んでくるような造形を持つ魅力的な作品に仕上がっていました。最後に、作品を引き立てるはずの雅印の位置がここでいいのか？雅印の大きさは？朱文、白文？また、墨の飛沫が騒がしくないのか？など、出品者の皆さんに考えていただきたい点があったことも付記させていただきます。

(福山市美術展覧会 審査評より)

受賞者集合写真

● 受賞者のみなさんと審査員の先生方

